

# 第2回 ひと☆まち 児童館フォーラム in 仙台 ～遊びのプロフェッショナル・児童館の専門性を考える～



## ◎開催日時

平成30年2月25日（日）10:00-17:00

## ◎開催場所

仙台市戦災復興記念館（仙台市青葉区大町 2-12-1）

【主催】公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団

【協力】一般財団法人 児童健全育成推進財団

## ■ テーマ

昨年、初めて開催した児童館フォーラムでは、「子どもの育つ遊びの力・遊びの魅力」をテーマに、子どもにとっての“遊び”そのものについて考える機会となりました。それから1年、第1回フォーラムとその後の取り組みを踏まえ、第2回ひと☆まち児童館フォーラム in 仙台では、「遊びのプロフェッショナル・児童館の専門性を考える」をテーマといたしました。児童館職員の役割・児童館の役割について、運営団体や自治体の枠を超え、多くの児童館職員の参加を得て、さらに関係機関をはじめとした児童館にかかわる方々から多くのご意見をいただき、共に考える機会とします。

## ■ 後援

仙台市、仙台市教育委員会、仙台市 PTA 協議会、仙台市地域子育て支援クラブ連絡協議会、宮城県児童館連絡協議会、全国児童厚生員研究協議会、河北新報社、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、共同通信社仙台支社、時事通信社仙台支社、NHK 仙台放送局、東北放送（株）、仙台放送（株）、（株）宮城テレビ放送、（株）東日本放送

## ■ 日程

◆10:00～11:30	ミニ講座	4階各会場
◇12:20～12:50	ポスターセッション	5階ロビー
◆13:00～14:30	特別講演	5階会議室 4階研修室（中継視聴）
◇14:45～16:15	分科会	4階・地階各会場
◆16:25～17:00	分科会報告	5階会議室
◇17:30～18:30	交流会	2階レストラン

## ■ 内容

### 1. 特別講演

#### ◆遊びのプロフェッショナル・児童館の専門性を考える

【会 場】 5 階会議室／4 階研修室（中継視聴）

【対 象】 どなたでも

【講 師】 一般財団法人 児童健全育成推進財団 理事長 鈴木 一光 氏

【プロフィール】 明治大学卒業  
厚生労働省社会保障審議会児童部会  
「遊びのプログラム等に関する専門委員会」専門委員  
厚生労働省社会保障審議会福祉文化分科会  
映像・メディア等委員会専門委員  
学校法人神戸（かんべ）学園神戸幼稚園 理事長  
公益財団法人 児童育成協会 理事  
社会福祉法人 こどもの国協会 理事

### 2. 分科会

#### ◆第 1 分科会 遊びのプロとして～職員のための運動遊びワークショップ～

【会 場】 地下展示ホール

【ねらい】 運動遊びによる子どもの育ちを学び、参加者が自館でできることを考えます。

【内 容】 少人数・大人数、広い場所・狭い場所、様々な施設環境で行える運動遊びを実際に体験します。また、運動遊びの重要性、幼児期から 18 歳までの運動経験が将来に及ぼす影響について学びます。

【対 象】 経験年数 5 年未満の児童館・児童センター職員  
（資格の有無や常勤・非常勤等を問いません。）

【講 師】 千葉工業大学創造工学部教育センター 准教授 引原 有輝 氏

## ◆第2分科会 要支援児の自立支援～「自分を好きになる」ための支援とは～

【会 場】	4階第1会議室
【ねらい】	要支援児への具体的な対応について学び、参加者が自館でできる“自立支援”について考えます。
【内 容】	児童館・児童クラブで支援を要する児童が“自分を好きになる”ための児童館でできる具体的支援について、当財団の業務検討会で作成した「児童館でできる要支援児対応ハンドブック」をもとに、講師とパネルディスカッションをします。
【対 象】	児童館・児童クラブ等に従事している職員、分科会テーマに興味のある方
【講 師】	認定 NPO 法人 アフタースクールぱるけ 代表理事 谷津 尚美 氏

## ◆第3分科会 高学年児童の自立支援～児童クラブの高学年受入れに向けて～

【会 場】	4階第2会議室
【ねらい】	児童クラブの高学年児童受け入れに向けて、“自立” “自立支援”について考えます。
【内 容】	児童クラブの高学年児童にスポットを当て、子どもの“自立”と児童館職員の“自立支援”について、参加者全員で意見を交換します。
【対 象】	児童館・児童クラブ等に従事している職員、分科会テーマに興味のある方

## ◆第4分科会 児童館実践事例～地域における児童館の役割～

【会 場】	4階研修室
【ねらい】	地域と児童館との関わりにおける実践例を通して、児童館職員の専門性や地域における役割を考えます。
【内 容】	当財団の児童厚生員による児童館運営事例発表と講師による実践事例の紹介を行います。発表者・講師・分科会企画運営委員とのトークセッションも行います。
【対 象】	児童館・児童センター職員、分科会テーマに興味のある方
【講 師】	東京都台東区松が谷児童館 館長 水野 かおり 氏

### 3.ミニ講座

#### ◆第1会場 要支援児のためのデイリープログラム

【会 場】	4 階第 1 会議室
【ねらい】	“一人ひとりに”応じた個別支援の方法を組み込んだデイリープログラム作りを体験します。
【内 容】	レクチャーと作成体験
【対 象】	経験年数 5 年以上の児童館・児童センター職員
【講 師】	仙台市教育局学校教育部特別支援教育課 主幹 原 新太郎 氏

#### ◆第2会場 個別支援計画の作成

【会 場】	4 階第 2 会議室
【ねらい】	複数の放課後等デイサービス事業所で情報共有ツールとし活用している個別支援計画について、体験的に理解する場とします。
【内 容】	レクチャーと活用体験
【対 象】	経験年数 5 年以上の児童館・児童センター職員
【講 師】	(特活) アフタースクールぱるけ 代表理事 谷津 尚美 氏

#### ◆第3会場 個別支援のための情報の構造化

【会 場】	4 階第 4 会議室
【ねらい】	「遊べない」「仲間に入れない」「留守番できない」などの課題解決に向けた情報の整理と分析を体験します。
【内 容】	レクチャーと体験
【対 象】	経験年数 5 年以上の児童館・児童センター職員
【講 師】	(公財) 仙台ひと・まち交流財団 子ども育成課長 後藤 敬二

#### ◆第4会場 私にとっての児童館～大人になった児童館・児童クラブの卒業生が語る～

【会 場】 4 階研修室

【ねらい】 児童館における「健全育成活動」や「育成支援」は、子どもたちや保護者にどのように映っていたのか、児童館で過ごした時間は、子どもたちの育ちにどのように影響したのか等について、児童クラブ卒業生や保護者に直接お話を聞き、これからの児童館活動を考えます。

【内 容】 児童館職員や子どもに関わる職業に就いた児童クラブ卒業生、その保護者に登壇いただき、当時の児童館での生活やその時の思い、それを見守り続けた保護者の思い、成長過程で影響したこと等をインタビュー形式でお話を伺います。

【対 象】 児童館・児童センター職員

【話し手】 児童館・児童クラブ卒業生、児童クラブ卒業生の保護者

## 4.分科会報告

【会 場】 5 階会議室

【内 容】 各分科会の報告と特別講演の講師から総評をいただきます。

【報告者】	第1分科会	館児童センター	渡邊 由貴
	第2分科会	住吉台児童センター	狩野 裕子
	第3分科会	吉成児童館	遠藤 佐智子
	第4分科会	木町通児童館	齊藤 寿一郎

【総 評】 一般財団法人 児童健全育成推進財団 理事長 鈴木 一光 氏

## 5.交流会

【会 場】 2 階レストラン

【内 容】 立食形式による参加者の交流会です。会費（3,000 円）は、交流会の会場で行われます。

## 6.ポスターセッション

情報交換・意見交換を促し、交流を深めていただくことを目的として、4つの分科会のテーマに沿った活動報告や実践事例の成果を募集しました。12枚のポスターを5階ロビーに掲示しています。

分科会	タイトル	所属	氏名
	3年目の成長	南光台児童館	佐藤 久江
	チャレンジタイム	木町通児童館	佐藤 梨絵
第1分科会	児童館での遊びを考える	館児童センター	市瀬 美香
	ドッジボールがドラゴンボールに	加茂児童センター	前田 高幸
	運動が苦手な子，運動が好きではない子が積極的に体を動かすプログラム作り	館児童センター	渡邊 由貴
第2分科会	自己肯定感，有用感を育む試みー好き・得意な遊びを生かしてー	郡山児童館	榊井 裕
	自立支援のケースマネジメント	子ども育成課	後藤 敬二
第3分科会	高学年児童にとっての自立とは何か	川平マイケル児童館	今野 明美
	高学年児童の受け入れについて	八乙女児童館	庄子 珠美
	児童クラブ員の自立に向けて	南光台児童館	榊川 泉
第4分科会	地域連携と子どもの権利	子ども育成課	後藤 敬二
	アナログゲームの使い方	木町通児童館	齊藤 寿一郎

## ■ 第 2 回児童館フォーラム 企画運営委員

分科会	所 属	氏 名	児童健全育成推進 財団認定資格	
第 1 分科会	館児童センター	主任	渡邊 由貴	児童厚生一級特別指導員
	加茂児童センター	児童厚生員	前田 高幸	児童厚生二級指導員
	黒松児童館	児童厚生員	中野 あけ美	児童厚生二級指導員
第 2 分科会	田子児童館	主任	穴戸 泰子	児童厚生二級指導員
	上野山児童館	主任	新沼 美佐子	児童厚生一級指導員
	鶴ヶ谷西児童館	児童厚生員	今野 知美	児童厚生二級指導員
	住吉台児童センター	児童厚生員	狩野 裕子	児童厚生二級指導員
第 3 分科会	川平マイカル児童館	主任	今野 明美	児童厚生一級特別指導員
	吉成児童館	主任	遠藤 佐智子	
	八乙女児童館	主任	庄子 珠美	児童厚生一級指導員
第 4 分科会	木町通児童館	主任	齋藤 寿一郎	児童厚生一級特別指導員
	西多賀児童館	主任	佐々木 由有紀	児童厚生一級指導員
	将監児童センター	児童厚生員	齋藤 俊介	児童厚生二級指導員

## ■ 主催者

(公財) 仙台ひと・まち交流財団 子ども育成課

〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-12-1

TEL 022-268-5079 FAX 022-225-2791

E-mail kodomo04@hm-sendai.jp

<http://www.hm-sendai.jp/jidoukan/>



本日のご感想・ご意見・ご要望等を上記メールアドレスまたはサイト内お問い合わせページの入力フォームより承ります。